

ラケット 基礎知識

ラケットはグリップやブレードの形状によって分類されます。主な種類とアイコンなどを紹介します。

代表的なラケットの形状

シェークハンドラケット

握手をするようにグリップを持つことからこの名がついています。両面にラバーを貼って使用します。現在の主流ラケットで、多くのプレーヤーが使っています。攻撃型と守備型があるのも特長です。

ストレート型



打法によって握り方の調整がしやすい。

フレア型



握りを固定しやすく安定感がある。

アナトミック型



手にフィットしてラケットの角度を調整しやすい。

テナリー型



手の平になじみやすく、力が伝わりやすい。



日本式ペンラケット

ペンを持つようにグリップを握るもので、以前は国内で最も多く使われていました。片面だけにラバーを貼って使用することが多かったですが、現在は両面に貼ってプレーの幅を広げる選手も増えています。



角型

先端寄りに重心があり、後陣からのドライブの威力を出しやすい。



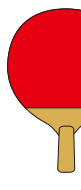
角丸型

重心がグリップ寄りで、前中陣での連続したプレーがしやすい。



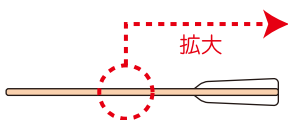
中国式ペンラケット

シェークハンドラケットのグリップが短くなったような形状で、日本式ペンと同様に、ペンを持つようにグリップを握る。両面にラバーを貼って使用することが多い。

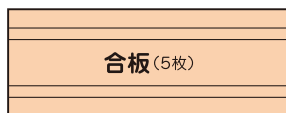


ラケット合板構成

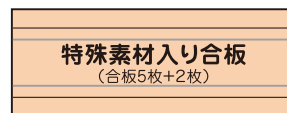
ラケットのブレード部分の板の構成はだいたい以下のように分類できます。



单板…1枚の板でできている
(日本式ペンに多い)



合板…複数の板でできている
(3枚・5枚・7枚など。枚数が多くなるほど弾みがよくなる傾向がある)



特殊素材入り合板…板と板の間に特殊な繊維素材をはさむことで、弾みがよくなったり、スイートエリアを広げる効果がある

特殊素材

ラケットアイコン説明

戦型



攻撃時に威力が出る**攻撃用**、適度な弾みで扱いやすい**オールラウンド用**、大きいブレードで弾みを抑えた**守備用**に振り分け

スピード



フラットに打った際の弾みファーストに近いほどボールの飛び出しが速い

打球感



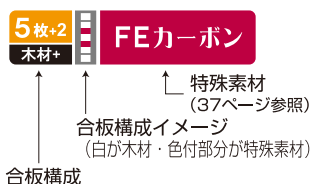
合板の硬さ、しなりの度合いなどを考慮して振り分けた打球時の感覚

ウッドエッジガード



ラケットサイドに板を薄く貼って保護します。台にぶつけても割れにくく、ラケットの扱いに慣れていない方に安心な機能です。

合板構成



ブレード・グリップ／サイズ

